



学校だより 令和2年3月
新宿区立四谷第六小学校
校長 児玉 純

【 教 育 目 標 】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・たくましい子ども
- ・思いやりのある子ども

ホームページ <http://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6> メールアドレス yotsuroku@shinjuku.ed.jp

3月、そして、、、

校長 児玉 純

いつの間にか校庭のチューリップは土の上に芽を伸ばし、校庭の梅の花は満開を迎えています。例年より暖かい冬が終わり、春がすぐそこまで来ています。

昨日、安倍首相より衝撃的な要請がありました。**新宿区としてはその要請を受け、区立小学校・中学校を3月2日（月）より全校休校にすることが決まりました。**詳しいことは、別紙またはメール等で改めてお知らせいたします。今までも、地域や学校の行事にも大きな影響が出ています。一日も早い終息を祈るばかりです。新宿パレードに参加予定だった4年生は、中止の手紙を担当から渡され、本当にがっかりした表情を見せていたそうです。一生懸命練習してきた子供達の落胆する姿には、心が痛みます。学校の行事につきましては、例年とは大きく違う形で行うことが決まっています。一つ一つの行事は、子供達はもちろん、保護者の皆様や地域の皆様も期待し楽しみにしてくださっていると思いますが、急な変更などがあります。このような状況ですのでご了承いただきますようお願いいたします。

ともあれ、3月と言えば学校では卒業と進級の時です。子供達は来年度に向かって、自分の準備と後輩への引継ぎを進めてきました。2月13日には、天候が心配される中、鼓笛隊の移杖式が行われました。多くの保護者、地域の皆様に見守られながら、無事に6年生から5年生・4年生にバトンが引き継がれました。残念ながら、この感動的な四六の伝統行事を見ることができませんでしたが、今週の月曜日に、新しい鼓笛隊が朝会で初演奏するのを聴くことができました。まだ、少し自信がない様子も見られましたが、立派に全校の行進をリードしていました。心配そうに5年生を見ている6年生の何とも言えない表情が印象的でした。また、今日は「6年生を送る会」が5年生、4年生の代表委員が司会をして行われました。6年生にとっては、いよいよ卒業という自覚を新たにする時でもあり、5年生にとっては、最高学年として学校の代表になるという思いを強く持つ良い機会になります。伝統を引き継ぐという重さと同時に新たな扉を開いていくことの喜びを子どもたち一人一人が実感していることと思います。

何気ない日常、例年と変わらない風景の中に本当に感謝すべきことがあること、あたり前があたり前でないことなどを深く感じさせられています。私達教職員も感謝の気持ちを忘れず、全力で子供達一人一人の思いを実現させるために力を尽くしたいと思います。

最後になりましたが、3月25日には57名の6年生が夢と希望に胸をふくらませ、この四谷第六小学校を巣立って行きます。6年間、一所懸命に学習に生活に力を注いであげた自慢の子どもたちです。6年生の門出をともに祝福していただけたら幸いです。

6年生を送る会

特別活動部

いよいよ6年生の小学校生活も残り1ヶ月となりました。2月13日（木）に行われた移杖式。この移杖式に向けての取り組みでも、6年生は5年生に対して、優しく、丁寧に楽器の指導をしてくれました。2月28日（金）に行われた「6年生を送る会」では、そんな頼りになる6年生に向けて、全校児童から感謝の気持ちやお祝いメッセージが送られ、体育館がとても温かい空気に包まれました。

その日は「フレンドグループによる班遊び」を行いました。6年生の姿を見てきた5年生が中心となり企画した遊びを、みんなで楽しそうに行っていました。4・5年生にとっても、「来年は自分達が高学年として学校を創っていくんだ」という自覚をもつことのできた、良い一日となりました。

～ 6年生の窓～

学年主任



2月13日（木）、全校児童や保護者の方々が見守る中、移杖式が行われました。6年生の最後の演奏に、雨雲も式が無事終わるのを待っていてくれました。6年生は中学への期待もありますが、この移杖式で卒業していく寂しさも感じたようでした。

2月28日（金）には6年生を送る会がありました。たくさんの思い出と感謝の気持ちと、そして、大きな希望を胸に3月25日（水）に四谷第六小学校を巣立ちます。今まで支えてくださった皆様、ありがとうございました。